

様式第3号 変更後の土地改良事業計画の概要

県営天草中央南地区(平床工区)土地改良事業変更計画概要書

1 計画変更の内容

項 目	変更前（第2回変更）	変更後（第3回変更）	増減
地 域	天草市杵宇土町	天草市杵宇土町	－
地 積	6.48 ha	2.19 ha	△4.29 ha
主 要 工 事	整地工 A= 3.97ha	整地工 A= 1.43ha	△2.54 ha
	道路工 L=1,425m	道路工 L=540m	△ 885 m
	用水路工 L=1,372m	用水路工 L=402m	△ 970 m
	排水路工 L= 436m	排水路工 L=369m	△ 67 m
工事着手及び完了予定時期	平成24年8月 令和 4年3月	平成24年8月 令和10年3月	
総 事 業 費	168,000 千円 (うち事務費 8,000千円)	86,100 千円 (うち事務費 4,100千円)	81,900 千円 (うち事務費 3,900千円)
(換 地 区)	平床1工区 平床2工区 平床3工区	平床1工区 平床2工区	

2 計画変更を必要とする理由

(1)施工区域の変更

・地元要望に伴う地区面積の変更 減 4.29ha 計 △4.29ha

(2)主要工事計画

・整地工
地区除外に伴う整地面積の変更 増 0.08ha 減 2.62ha 計 △2.54ha

・道路工
地区除外及び配置見直しに伴う路線延長の変更 増 0.4m 減885.8m 計 △885.4m

・用水路工
地区除外に伴う路線延長の変更 増 0.2m 減970.7m 計 △970.5m

・排水路工
地区除外及び配置見直しに伴う路線延長の変更 増92.2m 減159.6m 計 △ 67.4m

(3)主要工事に係る事業費の変更

①工事費（区画整理工）
3工区の地区除外に伴う事業費の変更 △85,679 千円

②測量及び設計費
実績に伴う事業費の増 8,364 千円

③用地費及び補償費
地区除外による用地買収及び補償費の減 △ 3,710 千円

④換地費
実績に伴う事業費の増 3,025 千円

これら主要工事計画にかかる事業費を160,000千円から82,000千円に変更。

3 変更後の土地改良事業計画の概要

(1) 事業の目的

本工区は、天草市の中心部より南に位置し、国道266号線沿いの急峻な地形に囲まれた、標高66m～76(208)mの狭小不整形な水田地帯である。用排水路が分離されておらず、田越しにより灌漑している状況であり、受益地内の道路も未整備であるため、農作物の搬出及び農作業機械の搬入出等に多大な支障を来している。

本事業により農業の生産基盤である耕地の整備を行う事によって農作業の労力軽減と耕地の高度利用を図り、これと併せた耕作放棄地や遊休地の解消、新規就農者及び後継者の確保により、農家経営の安定化を図る。

(2) 施行に係る地域の所在、地積及び現況

①地域の所在

天草市杵宇土町

②地積

変更
単位：ha（当初）

地目 市町村名	現 況					計 画				
	田	畑	道・水路	その他	計	田	畑	道・水路	その他	計
天草市	1.99 (5.16)	0.02 (0.35)	0.18 (0.52)	0.00 (0.45)	2.19 (6.48)	1.35 (3.70)	0.08 (0.54)	0.76 (2.24)	－ (－)	2.19 (6.48)
計	1.99 (5.16)	0.02 (0.35)	0.18 (0.52)	0.00 (0.45)	2.19 (6.48)	1.35 (3.70)	0.08 (0.54)	0.76 (2.24)	－ (－)	2.19 (6.48)

③現況

1) 地形

本工区は熊本県の西南部に位置し、北は有明海、西は東シナ海、東南は不知火海と四方を海に囲まれた天草の下島(旧本渡市)の北部に位置し、国道266号線及び二級河川亀川沿いの山迫の狭小不整形な水田地帯である。

2) 水利状況

a 用水状況

本工区は、二級河川亀川及び溪流水を用水源としており、用排水兼用の水路から取水し、田越しにより灌漑されている。工区内の水路は土水路であるため、取水及び水管理に多大な労力を費やしている。

b 排水状況

本工区の排水路は、農業用排水路としての機能の他に、雨水等を受ける排水機能も兼ねているが、水路の構造が土水路のため法面崩壊等が生じ、その管理に多大な労力を費やしている。

3) 道路状況

本工区を横断・連絡する農道に乏しく、道路密度が小さい。また、幅員が狭小であるとともに、線形も蛇行して離合が難しく、農地に隣接しない不効率な配置となっている。

4) 営農状況

本工区では、主にかんがい期に水稻の作付けが行われているが、非かんがい期には大部分の農地が遊休耕地となっている。近年では、兼業農家の増加や農業従事者の高齢化が進み、農業後継者不足が深刻化している。

5) 地域環境の概況

天草市は、熊本県の西南部に位置し、鹿児島県にまたがる天草諸島の上島及び下島、御所浦島により構成されており、周囲を海に囲まれた自然豊かな地域である。大半が山林により占められた急峻な地形のため平地が少なく、耕地率は全体の9.3%となっている。

下島の北部に位置する本工区は、国道266号線及び二級河川亀川沿いの急峻な山あいの迫に広がる狭小不整形な水田地帯であり、雑草や雑木が植生している。また、近隣水路の水量は年間を通じて少なく、稲作時期にカエル等が見られる。

(3) 基本計画

① 要旨

土地改良事業（区画整理）の施行により農業の生産基盤である耕地の整備を行うことによって農作業の労力軽減と耕地の高度利用を図り、これと併せた耕作放棄地や遊休農地の解消、新規就農者及び後継者の確保により農家経営の安定化を図る。

② 事業別面積

	2.19ha
区画整理	(6.48ha)

③ 用水量及び排水量

1) 用水量

土壌タイプ : 礫層礫質土壌粘土型(J91)

0.0142 m³/s

代掻期Q = (0.0323 m³/s)

0.0104 m³/s

普通期Q = (0.0235 m³/s)

2) 排水量

0.2786m³/s

排水量 (1/10年) Q = (1.6293m³/s)

0.1828m³/s

排水量 (1/2年) Q = (1.0693m³/s)

(4) 工事計画
区画整理

	1.43
整地工	A= (3.97) ha
	540 m
道路工	L= (1,425) m
	402
用水路工	L= (1,372) m
	369
排水路工	L= (436) m

(5) 環境との調和への配慮

本工区の亀川周辺は、ホタルの生息地となっている。工事区域及び連続する水路、その周辺において生物の生息状況及び生息環境の確認調査を行い、必要に応じて「環境配慮5原則」を基本とする捕獲及び安全な場所への移動などの保全対策を講じることとする。

(6) 換地計画の要領

①換地計画樹立の必要性

土地改良事業の施行によって区画を整理し、権利関係の再編により、集団化を図るため、換地計画を必要とする。

②換地計画樹立の基本方針

1) 従前地の土地の地積基準

換地交付の基準とする従前地の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

2) 農用地集団化の方法

区分 換地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置選択	一戸当たり 目標団地数	区画畦畔の 取扱い
平床1工区 平床2工区 (平床1工区 平床2工区 平床3工区)	集落別集団化 (集落別集団化)	地区内を地形、土壌条件によりブロックに分け、各ブロックごとに各人の従前の土地の密集した位置に換地を定める (地区内を地形、土壌条件によりブロックに分け、各ブロックごとに各人の従前の土地の密集した位置に換地を定める)	1～2団地 (1～2団地)	・固定畦畔標準区画の畦畔 ・移動畦畔所有者別の畦畔 (・固定畦畔標準区画の畦畔 ・移動畦畔所有者別の畦畔)

3) 非農用地の換地方針（該当なし）

区分 換地区	種 類	非農用地区域 の位置の概略	面 積	換地の手法	換地取得 予定者	その他

4) 清算方法

比例地積清算方式

③地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

変更
単位：ha（当初）

区分 用途	機能交換に係る土地				一般国公有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
道路・水路	－ (-)	－ (-)	0.18 (0.52)	0.18 (0.52)	－ (-)	0.18 (0.52)

④換地処分の特則

各換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項ただし書の規定に基づき、換地処分を行うことができる。

(7) 費用の概算

項目	事業費
主要工事費	45,260 (130,939) 千円
測量及び設計費	16,242 (7,878) 千円
用地費及び補償費	3,291 (7,001) 千円
換地費	17,207 (14,182) 千円
小計	82,000 (160,000) 千円
地方事務費	4,100 (8,000) 千円
総事業費	86,100 (168,000) 千円

(8) 事業の効果

区 分 \ 項 目	年増加見込効果額	年増加見込所得額
作物生産効果	1,212 (777) 千円	3,015 (1,381) 千円
営農経費節減効果	998 (2,176) 千円	998 (2,176) 千円
維持管理費節減効果	△278 (△527) 千円	△278 (△527) 千円
耕作放棄防止効果	3,247 (4,454) 千円	
国内農産物安定供給効果	319 (303) 千円	
合 計	5,498 (7,183) 千円	3,735 (3,030) 千円
総費用（現在価値化）	148,923 (166,320) 千円	
総便益額（現在価値化）	161,639 (173,930) 千円	
総費用総便益比	1.08 (1.04)	

(9) 地区を数区に分けた場合は、その旨及び理由

各工区が分断され、形状及び用排水系統等の諸条件が異なるため、土地所有の状況及び土地利用計画等を勘案して合理的な換地計画を策定し、工事進捗、工事負担金等に応じた計画的な換地処分を行うため、地区をわけ、2つの換地区を設定する。

(10) 他事業との関係

該当なし

(11) 計画概要図

別途添付